

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

成長資本主義が世界の不安定を招いている（その2）

小林喜光（三菱ケミカルホールディングス会長）

トーマス・セドラチェク（チェコの経済学者、「善と悪の経済学」の著者）

セドラチェク：主流派経済学者たちは、経済学は善も悪もない中立的な数字の世界の学問と主張してきました。しかし私は、経済学者にはイデオロギーがあり、よい影響も悪い影響もあって決して中立ではないと考えます。

小林：マルクス経済学は一種のイデオロギーでした。最近では物理学のように、客観的事業を映し出す数式、統計的な数字を扱う計量経済学が幅を利かせています。

セドラチェク：この本に数式は一つも登場しません。数式だけで物を考えるのは好ましくありません。倫理に関する「道徳感情論」と、富に関する「国富論」を著したアダム・スミスのように、定性と定量の二つの面のバランスを保つべきです。

小林：私は企業の安定のために、三の軸を念頭に置いた経営を考えてきました。ROE（自己資本利益率）・資本効率向上のX軸、イノベーション創出のY軸、CO₂（二酸化炭素）削減など環境保全・社会貢献のZ軸の三です。国家の価値もGDP成長というX軸一本ではなく、イノベティブな科学技術と社会システム、環境・持続可能性を含めた三つの軸で考えるべきです。

セドラチェク：会社も自己の利益ばかり追求しては、成り立ちません。社会という共有地から利益を得るのであれば、環境、文化などさまざまなことを考えて行動する責任が問われるのです。

（参考：「週刊東洋経済」2016年5月21日号）

新規成長分野

技術料、点検料、出張料のうまみ

- 「潰れそうで潰れない店」は、想像以上に様々な業種に点在している。自転車店には、ここにきて追い風が吹いている。電動アシスト自転車の普及だ。通常の自転車に比べバッテリーで駆動する分、構造が複雑で点検や整備が欠かせない。実際に1カ月、3カ月、半年点検など自転車店には自動車並みの点検メニューが並ぶ。いずれも料金は数千円になるが、作業自体は数分で終わることも多い。
- どう見ても潰れそうなのに潰れない次なる業態は金物店だ。ここも技術料でもうけている。特にドル箱は合鍵作り。加えて、うっかり鍵を忘れて外出してしまった人からの依頼を受け、玄関の鍵を開ける「鍵開け」もうまみが大きく、1回の出動で、出張料込みで1万円以上の手間賃を取れることもある。

（参考：「日経ビジネス」：2016年5月2日号）

心・健康・環境について

エコノミー症候群の対応策

- 熊本地震で注目された「エコノミークラス症候群」。エコノミークラス症候群は、狭い空間で長時間同じ姿勢をすることにより血液の流れが滞る状態。特に膝から下の静脈内にたまった血液が固まり、ふくらはぎの静脈内に血栓ができると危険度が増す。狭い場所から這い出して身体を動かしたとたん、血栓が肺静脈へ飛び、大事な血管を詰まらせてしまうからだ。
- エコノミー症候群の予防法は次の通りです。①長時間自動車のシートに座った姿勢で眠らない。②時々、足首の運動を行う。③ふくらはぎをマッサージする。④十分な水分を補給する。⑤適性な指導の下、弾性ストッキングを着用する。⑥可能であれば避難所で簡易ベッドを使用する。重要なのは、寝る際に足をできるだけ心臓と同じ高さに保つことだ。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2016年5月21日号）

古典に学ぶ

果断力について

（解説）ある有名な武士（林子平-1738~1793）は、それを果断力と定義した。「義は勇の相手にて、裁断の心なり。道理に任せて決心して猶予せざる心をいうなり。死すべき場合に死し、討つべき場合に討つことなり」と。

（参考：佐藤全広訳新渡戸稲造著「武士道」：教文館）